

第 56 回電子情報化委員会 議事録

日時：2013 年 9 月 17 日（火）15:00～18:00

場所：JCI 12F 会議室

出席者：甲斐委員長，八十島幹事，坂下，田嶋，中村，藤本，吉岡の各委員
（事務局）河井専務理事，井上，戸口

資料

56-0：電子情報化委員会（第 56 回）議事次第

56-1：第 55 回電子情報化委員会議事録（案）

56-2：委員会名簿

56-3：会員専用ページの利用者数

56-4：2013 年度 JCI 年次大会（名古屋）でのスマートフォンアプリ活用

56-5：専門家ホームページ作成打ち合わせ

56-6：JCI ホームページのあるべき姿と運営方法について（案）

56-7：「コンクリート工学年次大会 2013」報告

議事に先立ち，新規委員の中村委員，藤本委員から自己紹介が行われた。

議事

1. 年次大会 2013（名古屋）の報告（株式会社アトラス，資料 56-7）

アトラスより，年次大会のアプリと WEB ページの統計データについて報告がなされた。

- ・ アプリのダウンロードは，メールニュースの配信された 7 月 3 日，大会前日の 7 月 8 日が多かった。
- ・ WEB ページのアクセス数は，メールニュースの配信された 7 月 3 日，大会当日の 7 月 9 日が多かった。特に，年次論文奨励賞受賞者ページへのアクセス数が最多であった。
- ・ 講演スケジュール登録および Good 機能を活用するユーザ数は，少なかった。
- ・ 要望に対する改善は，できる限り対応してもらえそうである。

2. 前回委員会議事録（案）の確認（八十島幹事，資料 56-1）

第 55 回議事録（案）の内容が了承された。

3. 委員会名簿の確認（資料 56-2）

- ・ 名簿の所在地，電話番号などを確認し，修正がある場合は事務局に連絡する。
- ・ 各委員の担当は，浅本委員：研究委員会 HP+専門家向け HP，上田委員：IT 委員会発足，坂下委員：IT 委員会発足，舌間委員：JCI ホームページ，高橋委員：メールニュース，田所委員：論文集，田嶋委員：電子情報化委員会 HP+委員会報告書+動画配信，中村委員：IT 委員会発足，藤本委員：IT 委員会発足，吉岡委員：専門家向け HP，である。

4. 登録者・利用者数について（事務局，八十島幹事，資料 56-3）
 - ・ 現状のメールニュース登録者数 7582 名（会員 2233 名，非会員 5349 名）で，前回委員会時から 250 名程度の増加である。
 - ・ 会員専用ページ利用者数は 2856 名で，前回委員会のときから 100 名程度の増加である。
 - ・ 修正された会員のメールアドレスをメールニュースサーバーに一括登録する。【担当：八十島】

5. 年次大会関連（中村委員，資料 56-4）

中村委員より，年次大会で活用したアプリの作業内容および所感について説明があった。

 - ・ 多人数接続可能な無線 LAN 配備をしたため，ネットワークに関するトラブルはなかった。
 - ・ 大会運営側から即座に情報発信できることはよかった。
 - ・ 今後はテクノプラザ出展企業が利用できる付加価値のある機能を設けるべきだろう。
 - ・ 出展依頼する企業向けにアプリに関するわかりやすい図や写真がほしい。
 - ・ 年次論文 CD-ROM の内容およびデザインについて，アトラスとの検討が必要である。
 - ・ 来年度の年次論文 PDF のファイルサイズは 2.0MB 以下とし，CD から DVD に変更する予定。

6. JCI ホームページのあるべき姿と IT 委員会発足に向けて（資料 56-6）
 - ・ JCI ホームページの意義および方向性，運営管理の組織と責任，コンテンツの作成と更新の体制，新たな委員会の発足日程について 10 月末までにまとめて，広報委員会および理事会で意見をうかがう。
 - ・ ホームページには信頼性のある有益な技術情報を載せるべきだろう。
 - ・ ページ作成と更新は，委員の作業負荷を考慮し，編集委員会と同様な形式にすべきである。
 - ・ コンクリートに関わる技術者に対して，論文・研究の内容を解説し統括された技術情報を発信すると有益である。
 - ・ 「一般向け」としての対象者は，学会という立場を考慮して，コンクリートに興味のある大学生以上や非会員のコンクリート技術者としてもいいのでは。
 - ・ 一般向けとしては，コンクリートに関連する教材・教科書・講座を載せてもよいと思われる。また，過去の研究委員会の報告書は，何らかの方法で電子アーカイブ化すべきである。
 - ・ コンクリート関連企業と大学生を結びつける場として，ホームページを活用できないだろうか。例えば，職場見学といった形式で，大学生が企業訪問し，レポート報告を数ヶ月に一回程度の頻度で WEB 公開する方法など。
 - ・ 研究委員会の活動内容をホームページで積極的に公開できる仕組みを考えるべきであり，発足させる IT 委員会では，その補助的な役割を担ってもらいたい。
 - ・ 今本先生の研究委員会で行われている活動（ランドマークとして位置づけられる研究論文を紹介する内容）を継続的にホームページで公開すると，大学生やコンクリート技術者にとって有意義な情報になるだろう。
 - ・ 会誌とホームページがタイアップして，会誌では伝えられない写真や動画などを公開すべきだろう。

7. 専門家向けホームページ（吉岡委員，資料 56-5）

吉岡委員より，専門家向けホームページの作成状況について説明があった。

- ・ コンクリート基本技術調査委員会にホームページのコンテンツ内容をすべて作成していただくことは困難であったため，委員会報告会のパワーポイントに基づいて専門家向けページ案を作成した。
- ・ ページ案は，委員会ホームページとなってしまうため，専門家向けコンテンツとして改善が必要と思われる。
- ・ 委員会報告書そのままを小出しして，5 年程度かけて定期的に更新しながら公開した方が効果的と思われる。また，報告書の販売数も伸びる可能性がある。
- ・ 現在のページ案は，一般向けとして公開することで活用する。
- ・ 十河先生に打診して，コンクリート基本技術調査委員会で検討してもらう。

8. メールニュース

今後のメールニュース担当は，10 月・11 月号：藤本委員，12 月・1 月：中村委員，2 月・3 月：上田委員になった。

9. 次回日程

- ・ 2013 年 11 月 26 日（火）15：00 から，JCI 会議室にて実施する。

以上